

令和元年 5月30日(木)

県総体壮行会 ～今年度の県総体、本校から196名が出場～

第73愛媛県高等学校総合体育大会壮行会が、5月30日の全校朝礼時に体育館で行われました。まず各部（18部）の主将が順に試合日程や目標などを述べました。それに対して西岡誠校長が「第73回県総体が『今、歩み出す、令和の一步、新たな歴史を、作り出せ』をスロガンに、明日の開会式から始まります。今年度は、男子18種目、女子7種目、計196名の出場数となっています。昨年度が211名で総数は若干減少していますが、女子は13名から26名と躍進しています。昨年度は、団体優勝4種目、個人優勝3種目などの松工全体で輝かしい成績を残しました。今年度も連続優勝をはじめ、昨年以上の成績を残せるように、これまで努力をしてきたと思います。培った実力を発揮することはもちろんですが、見えないところで伝統の力も皆さんを後押ししてくれると信じています。将棋の羽生九段が大事にしている言葉として、『運命は勇者に微笑む』があります。中盤から終盤にかけて、一手一手で局面が大きく変わる、競り合う厳しい状況の中で、迷いや不安になるとき、勇気を出すことが大事だという意味です。そして、勇気を出して勝負するには、自分自身、そして、仲間を信じるしかありません。皆さんは個人として、チームとして、厳しい練習を重ね、心身を鍛え、自信と仲間との信頼を築き上げてきましたことを、勇気してください。3年生にとっては最後の総体であり、大会にかける思いは今まで以上に強いと思いますが、3年間の集大成として、実力を出し切り悔いのない試合をしてください。また、選手以外の生徒も、各会場で声援を送り、選手に勇気を与えてください。110周年にふさわしい活躍を祈念し、激励の言葉とします。」と選手を激励しました。

また、生徒会からは、生徒会長の浜田樹君（情報電子科3年）が「これまで暑い日も寒い日も、放課後、休日等、長い時間を掛けて準備をされてきたことと思います。四国大会、全国大会出場が、当たり前とされる部活動が多い中で、大きなプレッシャーと戦いながらの日々だったと思います。いよいよ迎える本番で、最後まで諦めず、これまで掛けてきた時間、積み上げてきた努力、これまでの全てを掛けて全身全霊を出し切り、松工の底力を見せつけてください。応援しています。」と力強く激励の言葉を述べ、全校生徒で校歌を斉唱しました。

その後、卓球部主将の乗松永遠君（機械科3年）が選手を代表して「本日はこのような会を開いていただきありがとうございます。日頃の練習の成果を発揮して、応援してくださる方々の期待に応えられるよう全力でプレーしてきます。本日は本当にありがとうございました。」と謝辞を述べました。

今年度の愛媛県高等学校総合体育大会の競技は、6月1日(土)～3日(月)の3日間、各会場で開催され、18部196名の選手が、四国大会・インターハイ出場を目指して、日頃の練習の成果を発揮します。応援をよろしく願います。



各部が試合日程や目標を説明



選手を激励する西岡校長



生徒会を代表して激励する
生徒会長 浜田樹君



選手を代表して謝辞を述べる
卓球部主将 乗松永遠君